

第七次甲府市総合計画説明会 会議録（相川地区）

日 時	令和8年5月11日（月）午後7時00分～午後8時00分
会 場	相川小学校体育館
参 加 者	111名（市長等及び関係職員含む）
次 第	1 市長説明 2 意見交換 3 地区からの挨拶
意見交換記録	
質問	<p>・企業誘致と観光振興について</p> <p>少子高齢化が叫ばれる中、令和6年の山梨県の合計特殊出生率は1.26、婚姻率も人口1,000人あたり3.6人と厳しい状況にある。新聞報道によれば人口維持に必要なラインは2.07とされており、所得と出生数に相関があることを踏まえると、経済的な負担が結婚や出産に影響していると考えられる。リニア開通で首都圏と接近することを好機と捉え、魅力ある企業の誘致による雇用の創出と、観光における集客力の強化をお願いしたい。</p>
樋口市長	<p>人口減少を最重要課題と捉え、若者の働く環境づくりに力を入れている。先日、県央ネットやまなしの12市町共催で合同企業説明会を開催し、191社が出展、過去最多となる334名が参加した。在学中から地元企業を知ってもらうためのインターンシップ等も紹介している。</p> <p>また、新しいアイデアで急成長を目指す「スタートアップ企業」の誘致にも取り組んでおり、これまで5社が市内に事業所登録した。既存の工業団地や甲府南インターチェンジ周辺への企業誘致にも引き続き努める。</p> <p>観光振興については、武田神社周辺、日本遺産の御岳昇仙峡や信玄の湯湯村温泉、甲府城跡、そして来年度リニューアルオープン予定の遊亀公園附属動物園などを結ぶ「街歩きのネットワーク」を作り、回遊性を高めていく。実施計画の事業を確実に行うことで交流人口を増やし、地域活性化に繋げていきたい。</p>
質問	<p>・自転車専用道路の整備について</p> <p>武田通りは観光客も多く車の通りが激しいため、歩道を通行</p>

<p>まちづくり部長</p>	<p>する自転車と歩行者の接触が危惧される。甲府昭和高校や甲府工業高校周辺のように、車道外に自転車専用レーンを整備することはできないか検討をお願いしたい。</p>
<p>質問</p>	<p>武田通りは県道であり、現在の道路幅員の中で自転車専用道路を作るのは非常に厳しい状況であるが、地域からのご要望として県へ伝えていく。市としては、まずは自転車の交通ルールの遵守など、ソフト対策から講じていきたい。</p>
<p>質問</p>	<p>・武田神社の整備及び公有地の有効活用について 昨年整備された「小江戸甲府花小路」により中心街に活気が戻り、新たな観光地として賑わいを見せているのは大変喜ばしい。一方で、観光地として認知度の高い武田氏館跡の周辺において、公有地でありながら長年未整備で放置されている場所がある。有効な使い道があると思うため、早期の整備をお願いしたい。</p>
<p>教育部長</p>	<p>史跡武田氏館跡は甲府市の成り立ちに深く関わる重要な歴史資産であり、これまで東側から公園として整備を行ってきた。しかし、神社北側の復元整備に着手した際、境内に架かる土橋の石垣の崩落が確認された。現在は文化庁や県の指導のもと、安全確保のための復旧工事を優先しており、復元整備を一時中断している状況である。史跡での慎重な工事となるため復旧には数年を要する見込みだが、工事完了後は順次、神社北側から竜華池南側へと整備を進めていく。</p> <p>また、昨年度から「史跡武田氏館跡保存活用計画」の策定に着手しており、将来への引き継ぎや活用方策について有識者の意見を踏まえ検討中で、改めて相川地区の皆様へ説明の場を設けたい。</p> <p>今後も信玄ミュージアムを核とした情報発信と整備事業を一体的に進め、歴史を活かしたまちづくりに努める。</p>
<p>質問</p>	<p>・デマンド型乗合タクシーについて 相川地区と大里地区で令和5年度からデマンド型乗合タクシーの実証運行が行われており、高齢者の移動手段として非常に有効だと感じている。令和8年度の計画はどうなっているのか。</p>

<p>リニア交通政 策監</p>	<p>また、利便性を考えると通年実施（本格運行）が必要だと思うが、その見込みについて伺いたい。</p>
	<p>相川地区では、自治会役員や民生委員、地区社会福祉協議会など地域の皆様の積極的な周知により利用者の増加が図られたが、他の地区では定着に向けた課題が残っており、本格運行への移行にはさらなる検証が必要な状況である。そのため、令和8年度においても再度実証運行を行う計画である。</p> <p>相川地区の好事例を他の地区にも横展開し、地域の皆様のご協力のもと、70歳以上の方々により多くご利用いただき、現場の声を聴取しながら早期の本格運行に向けて引き続き取り組んでいく。</p>
<p>質問</p>	<p>・公会堂の床補修の補助について</p> <p>広小路の公会堂は50年前に相川小学校にあった廃材で作られたもので、耐震診断でも倒壊の恐れがあると言われている。今回は応急処置として床補修の申請をしたが、建て替えとなると毎年積み立てはしているものの、自治会単独での実施は困難である。築50年、60年と経過した老朽化した木造の建物に対しては、ある程度補助されるような制度を検討してほしい。</p>
<p>樋口市長</p>	<p>老朽化した公会堂を抱える自治会は多く存在し、資金不足や会員減少などの様々な事情があるため、まずは市民部の担当窓口と個別の事情についてしっかりと相談していただきたい。自己資金にプラスする形での補助制度自体は存在しており、申請の多い中で優先順位をつけて毎年採択しているが、緊急を要する場合や特別な事情がある場合はぜひ相談してほしい。</p>
<p>樋口市長 (まとめ)</p>	<p>本日は長時間お付き合いいただきありがとうございました。</p> <p>第七次甲府市総合計画が目指す都市像は、行政だけで成し遂げられるものではなく、市民の皆様としっかりコラボレーションをして進めてまいりたい。</p> <p>デマンドタクシーについては、先日の社会福祉協議会の総会でも熱心なご要望をいただいた。実証運行から本格的な事業へ移行し、「継続して使いたい」という方々の声が非常に多くなっているので、全庁的に連携し、実現に向けてさらに努力してい</p>

	<p>く。</p> <p>今後も皆様の現場の声を聴かせていただきながら、一つ一つ課題を解決し、さらに絆が強いまちをつくっていきたいと考えているので、引き続きよろしくお願い申し上げます。</p>
<p>地区からの挨拶要旨</p>	
<p>相川地区自治 会連合会会長</p>	<p>本日は大勢の方にお集まりいただき、また市長をはじめ、市の幹部の皆様には、相川地区の様々な課題について丁寧にお答えいただき本当にありがとうございました。</p> <p>向こう10年間の目標として「幸せ実感 希望ある未来を創り続けるまち 甲府」という都市像が示されたが、この相川地区も、皆様と共に作り上げていきたい。具体的には「住みよい相川地区」「活力ある相川地区」を目指して、是非とも皆様方のご協力をお願いする。</p>